

新聞もテレビも報じない 子宮頸がんワクチンのほんとうの話

国際医療福祉大学大学院教授
元朝日新聞論説委員・元大阪大学大学院教授
日本臨床倫理学会理事

福祉と医療・現場と政策をつなぐえにしネット

<http://www.yuki-enishi.com/>

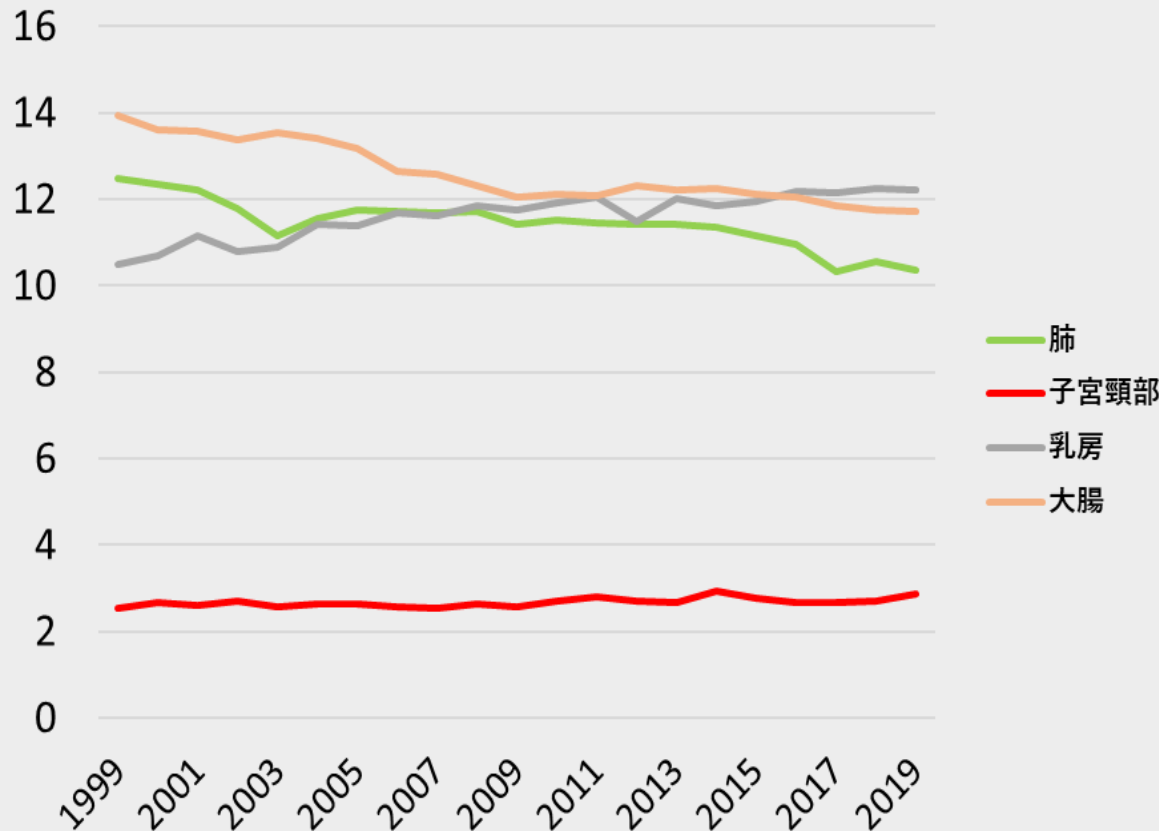
志の縁結び係 & 小間使い

おおくまゆきこ

略歴は最終ページに(^_-)-☆

このような基本的な情報さえ、 メディア伝えてきませんでした(/o\)

年齢調整死亡率（人口10万人あたり）の推移



女性にとっては、乳癌、大腸癌、肺癌の方がずっと怖い

子宮頸癌は、検診で前癌病変で、発見できる珍しいがん

早期発見で赤ちゃんも産める

副反応疑い報告
(100万接種あたり)

HPV	355.8
4種混合	36.6
風疹	28.5
日本脳炎	23.9

えにしのHP(「ゆきえにし」ですてきます)。その中の「子宮頸ガン予防？」ワクチンの部屋基礎的情報
<http://www.yuki-enishi.com/kusuri/keigan-00.html>

毎日新聞の月1回の連続「私」を 私の社会保障論」で検診の大切さを

「大切に育てた娘が、注射で青春も奪われて、痛みにもがいて、とどろんどろどくなる。顔を歪めて、叫ぶ娘。「メメント私は口を縫っている。あなたを将来ガンにさせたくなかった。その代償があまりにもむづかしい」

東京都杉並区から「中学入學お祝い」として「子宮頸がんワクチン」接種を知らされ、娘に勧めてしまった母が悔恨の気持ちをとめてつづる「みかりんのさまやき」というブログの二節です。

この少女だけではありませんが、「元氣そのものだったのに、ある日を境に、陸にあげられたサカナのようにけいれんする、痛みが体のあちこちを移動する。病院を訪ね歩いて」も「精神的なものでは」といわれて傷つく。そんな経験をした家族たちがインターネットで検索して、このブログにたどりつき、あまりに似た経験に驚き、3月25日に「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」を発足させました。

看病で手いっぱい家族たちを支えようと、首都圏の市議、区議が支援の会をつくり、日野

くらしの明日



受けやすい検診の確立を

子宮頸がんワクチン被害

私の社会保障論

大熊 由紀子 国際医療福祉大大学院教授

市議の池田利恵さんが事務局長と連絡先を引き受けました。電話番号(042・594・1337)が公開されると「わが子もそうではないか」と、全国から電話が殺到しています。

「子宮頸がんは死を招いたり、子宮を摘出したりにすることになる怖い病気だが、ワクチンで防げるという。5万円と高価だが、期日までに受ければ無料といわれ、それならわが子に受けさせよう、と考えてしまったのです」。こう親たちは嘆きます。

厚生労働省に設けられた専門家の検討会でも先日、2種の子宮頸がんワクチンの副反応が、インフルエンザワクチンの38倍と26倍、重篤な副反応は52倍と24倍にのぼると報告されました。にもかかわらず、このワクチンを国の定期接種とする法が3月末、国会で成立しました。

子宮頸がんは、検診で早期発見すれば命も子宮も失わずに済みます。ただ、日本のように、男性医師の前で足を広げねばならないことの多い検診では、女性も検診をためらい、検診率は20%にとどまっています。80%と高い英国では、訓練を受けた看護師が、診療所の普通のベッドの上で実施しています。このような安全で確実な検診方法を検討することなく、まだ臨床試験段階のものを、十分な説明もなく少女たちに接種するのは中止すべきだと考えます。

このワクチンの公的支援が浮上した時、厚労省の担当官は「長期的な効果や副作用の情報が十分ではない」「効果を過信して子宮がん検診を受けなくなったら大変」と警鐘を鳴らしていました。それが、政治主導と社会的なキャンペーンの中で押し切られたのです。

副作用と薬害の違い
どんな薬にも副作用(副反応)はあるが、効果が不利益を上回り、それに勝るほかの手段がなければ、受け入れて治療や予防に使うことになる。薬害は、利益と不利益を比較する科学的データが曲げられたり、副作用情報が隠されたりした結果、被害が拡大すること。副作用は薬が起す。薬害は人が起す。

産婦人科の女性にとって恥ずかしい検診台に
のらなくてもいいように

イギリスでは女性の看護師が普通のベッドで検診 BBCのスタジオで紹介



#VictoriaLIVE

CERVICAL SCREENING LOWEST FOR TWO DECADES

大手メディアやテレビでは
このワクチンの
被害を
書けない日が
続いています。

朝日新聞に
書くことを許されず
退社して書いた
高波淳さんの記事。。

母は私を抱きしめ、 死のうと言った

HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)接種後の副反応被害を女性たちが訴える「HPVワクチン訴訟」原告の千葉県白井市の園田絵里菜さん(26歳)と、母の小百合さん(60歳)の6年間を追った。

写真・文／高波淳

HPVワクチン訴訟原告女性とその母の闘いを6年間追つ



学習会の会場に到着し、冷え切った絵里菜さん(左)の手をさすって温める小百合さん＝2023年2月25日、千葉県柏市。



自宅1階のリビングに置かれたベッド周辺の狭いエリアが絵里菜さん(右)の生活空間が＝2023年3月27日、千葉県白井市。



学習会の会場で絵里菜さんは冷える手をカイロで温めていた＝2023年2月25日、千葉県柏市。

<http://www.yuki-enishi.com/kusuri/kusuri-37.pdf>

はじめまして。森あかねと申します。現在 23 歳です。

今日はこの場に来られない沢山の被害者を代表してお話させていただくことに感謝いたします。



私が子宮頸がんワクチンを接種したのは、今から 9 年前の中学 2 年生、14歳の時でした。

私は、もともと運動が大好きで3歳から体操教室に通い、器械体操が得意な活発な子だったと母は言います。風邪などで欠席することもほとんどありませんでした。

また、読書が好きで学校の図書館の本を読破したりするほどでした。

中学 2 年の冬に 1 回目を打った直後くらいから、酷い頭痛に悩まされ、耐えかねてよく失神しました。

その後直ぐに、腰や肘、膝、指など、全身のありとあらゆる関節が痛み出しました。

趣味のピアノが痛みで弾けなくなり、それどころか 200ml の牛乳の紙パックも持つのが大変になりました。

歩く時も、足を引きずるようになり、階段の上り下りが大変で、意識が遠のくほどでした。手足に、ひどい痺れや、震えが出てきて文字を書く事もままならないほどでした。また、この頃から記憶障害や視力障害、聴力障害がだんだんと出始めました。

2 回目の接種を行なった後には、左半身の痙攣が起こりました。

大学病院などで様々な検査を受けましたが、医師には特に心配ないといわれたので気にしないでいようと思いました。

しかし、その頃には、自分の苗字だけでなく名前や、自分の生年月日や、好きな物を思い出

参議院議員会館での森あかねさんの訴えも
記事に、なりません

自己免疫性脳症を見極めるための神経徴候

要旨

一部の自己免疫性脳症と精神疾患は臨床徴候が類似することが多く、しばしば誤って診断されている。従来の神経診察法のみで正確に診断することは難しく、脳がびまん性に障害された場合の神経徴候を理解するという視点が必要である。見極めるためには詳細な問診と神経診察が重要であり、SPECT (single photon emission computed tomography)、甲状腺自己抗体ならびに抗GluR抗体測定が診断に有用である。

[日内会誌 106:1542~1549, 2017]

Key words 甲状腺自己抗体, びまん性脳障害, give-way weakness, 多発性脳血流低下, 抗GluR抗体

はじめに

自己免疫性脳症と精神疾患は臨床症状が類似することが多く、しばしば誤って診断されている。代表的な自己免疫性脳症の1つである抗NMDA (N-methyl-D-aspartate) 受容体脳症は若年女性に多く発症する脳症だが、統合失調症様の精神症状で発症することが多く、頭部MRI (magnetic resonance imaging) で異常所見を認めない例も多い。患者の多くは抑うつ、不安等の精神症状を自覚し、まずは精神科を受診する。その後、興奮、幻覚、妄想、不随意運動等の統合失調症様の症状が出現し、その後、無反応期に移行するとされる。以前では、抗NMDA受容体脳症は急性発症の統合失調症として取り扱われてきたようであるが、医学の進歩により

精神疾患の原因が明らかになった代表的疾患と言える。加えて、統合失調症の精神症状は従来から脳のNMDA受容体機能が低下することが原因で、これら2つの疾患は原因が異なるものの、共通した病態が関与しているのではないかと考えられるようになってきている¹⁾。当初は、脳疾患が精神疾患と考えられていたという報告は多数にのぼり、精神的な症状を呈する患者の中に自己免疫的機序による器質的脳疾患が原因である患者が多数含まれている可能性は高い。我々は、過去5年で100例近くの自己免疫性脳症の症例を経験し、自己免疫性脳症をより正確にピックアップするための知見を得たので、そのポイントについて記載する。

鹿児島大学神経病学講座神経内科・老年病学

Encephalitis/encephalopathy in disorders of internal medicine. Topics: 1. Neurological findings to identify autoimmune encephalopathy.

Hitoshi Arata and Hiroshi Takashima: Department of Neurology and Geriatrics, Kagoshima University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Japan.

荒田 仁



高嶋 博



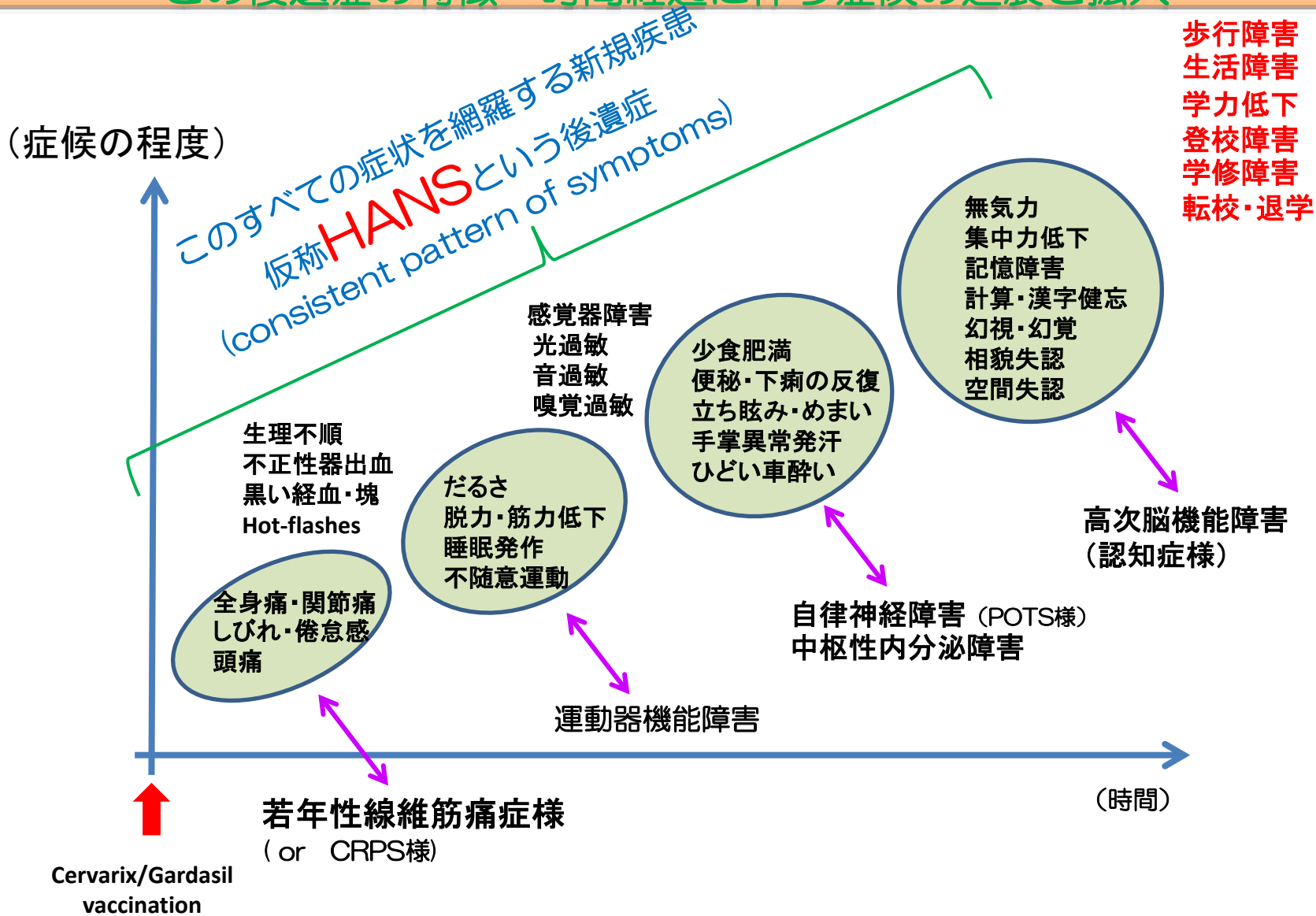
科学部・医療部も、
学術雑誌の報告を
記事にしません

つらい後遺症が
「自己免疫性脳症」と
わかってきたのに

。。。

横田俊平名誉教授に大学院で講義していただきました

この後遺症の特徴：時間経過に伴う症候の進展と拡大



HANS: Human Papillomavirus Vaccine-associated Neuroimmunopathic Syndrome

多様な症状が重なって、変化するのがこの後遺症の特徴

神経内科などの経験が乏しい医師には、理解不能

⇒「精神的におかしいのでは?詐病?心因性?」

と誤診。女性たちは、さらに不幸に

感覚系障害

頭痛, 四肢・全身の疼痛, 光過敏, 音過敏, 嗅覚障害, 激しい生理痛等

運動系障害

不随意運動, 脱力, 筋力低下, けいれん, 歩行障害等

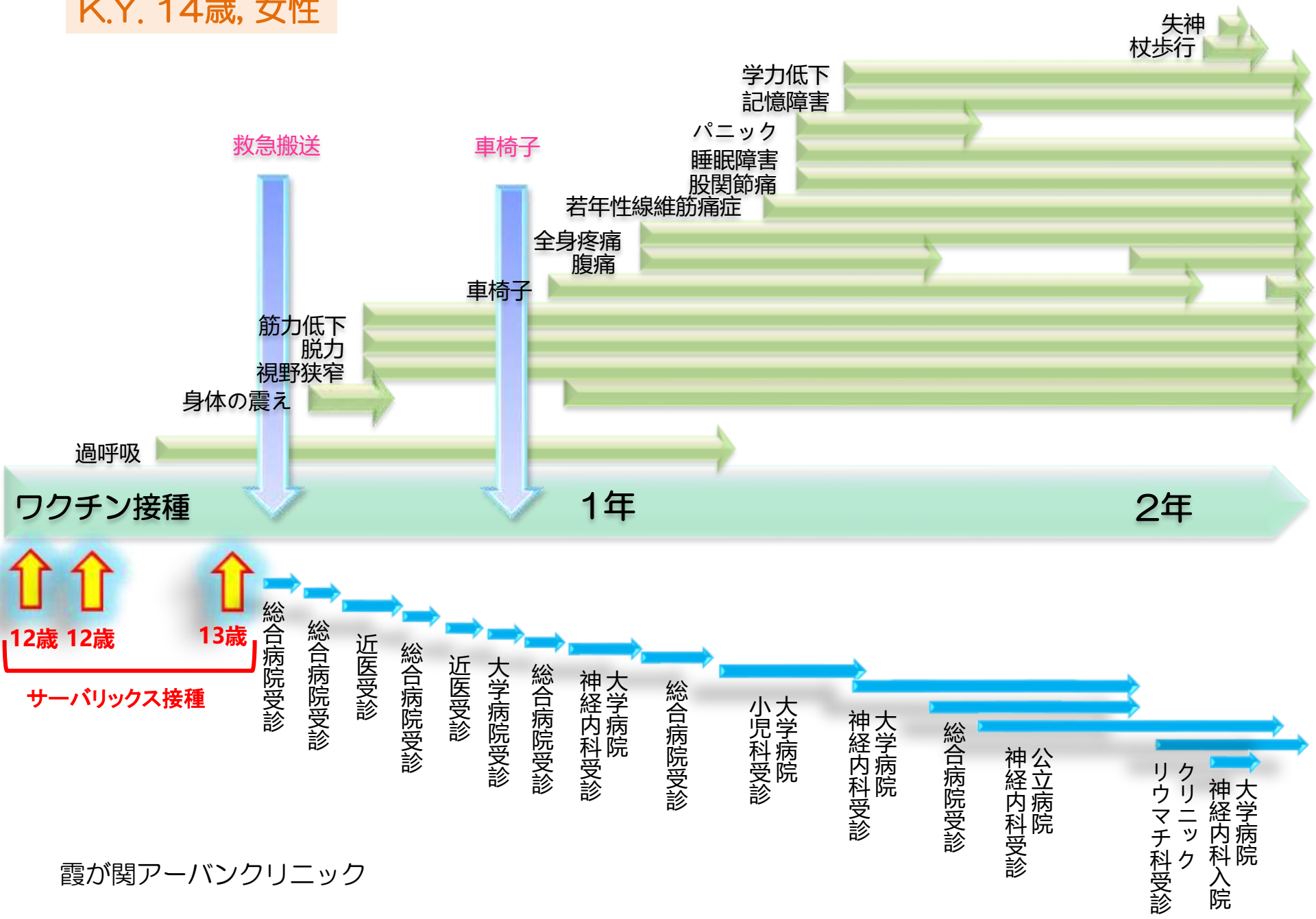
認知・情動系障害

倦怠感, 集中力低下, 学習障害, 記憶障害, 相貌認知障害等

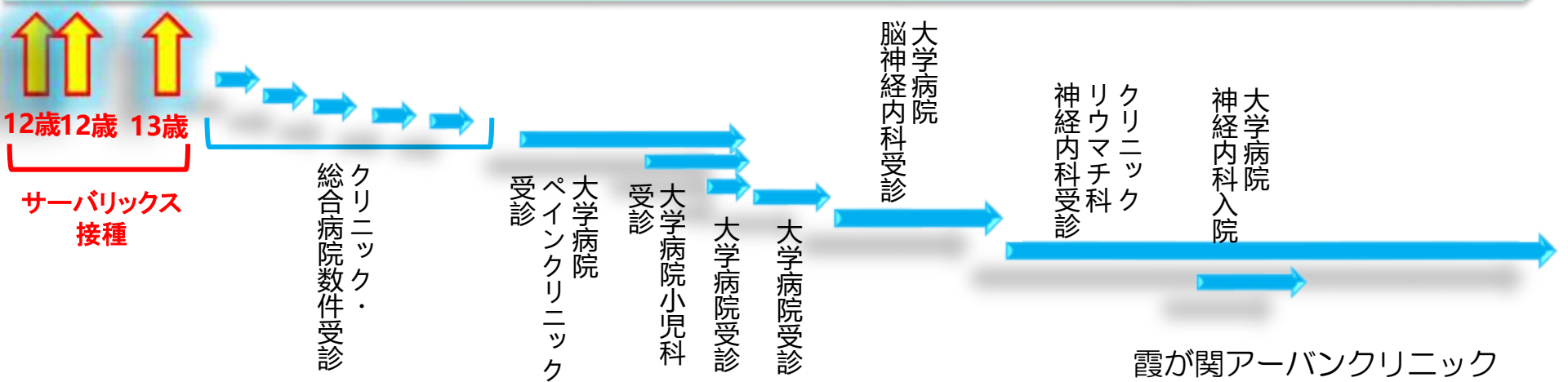
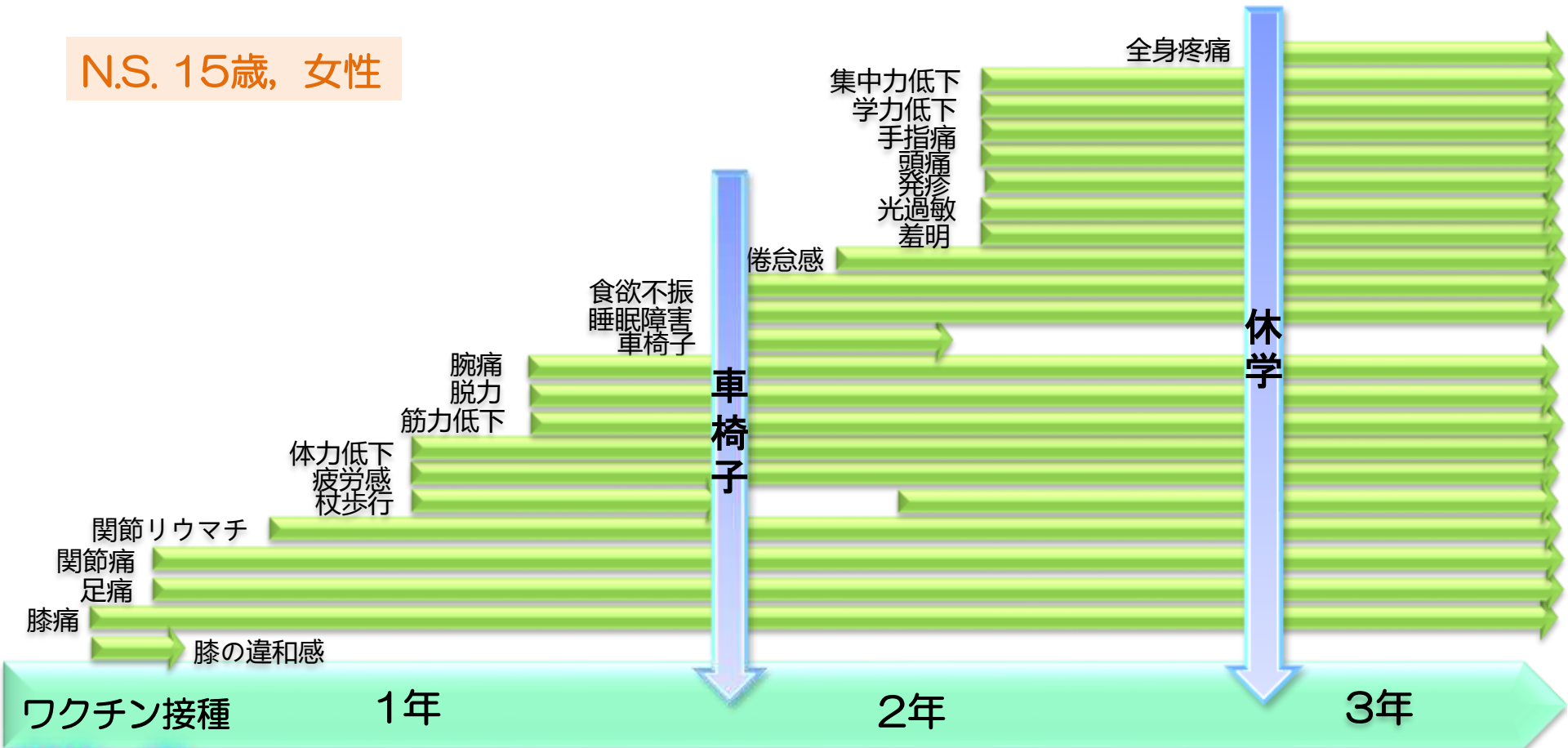
自律神経・内分泌系障害

発熱, 月経異常, 過呼吸, 睡眠障害, ナルコレプシー, 発汗過多等

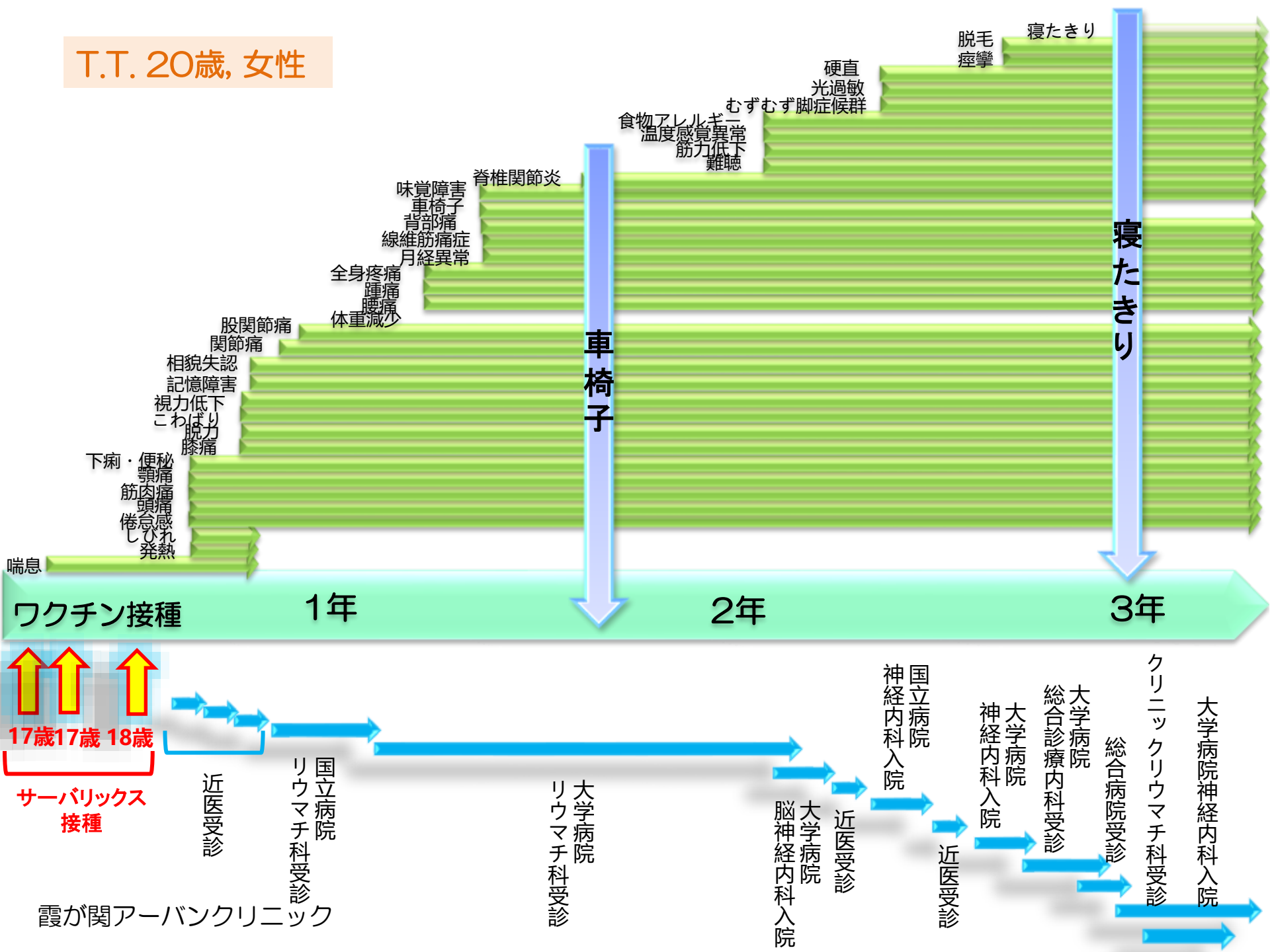
K.Y. 14歳, 女性



N.S. 15歳, 女性



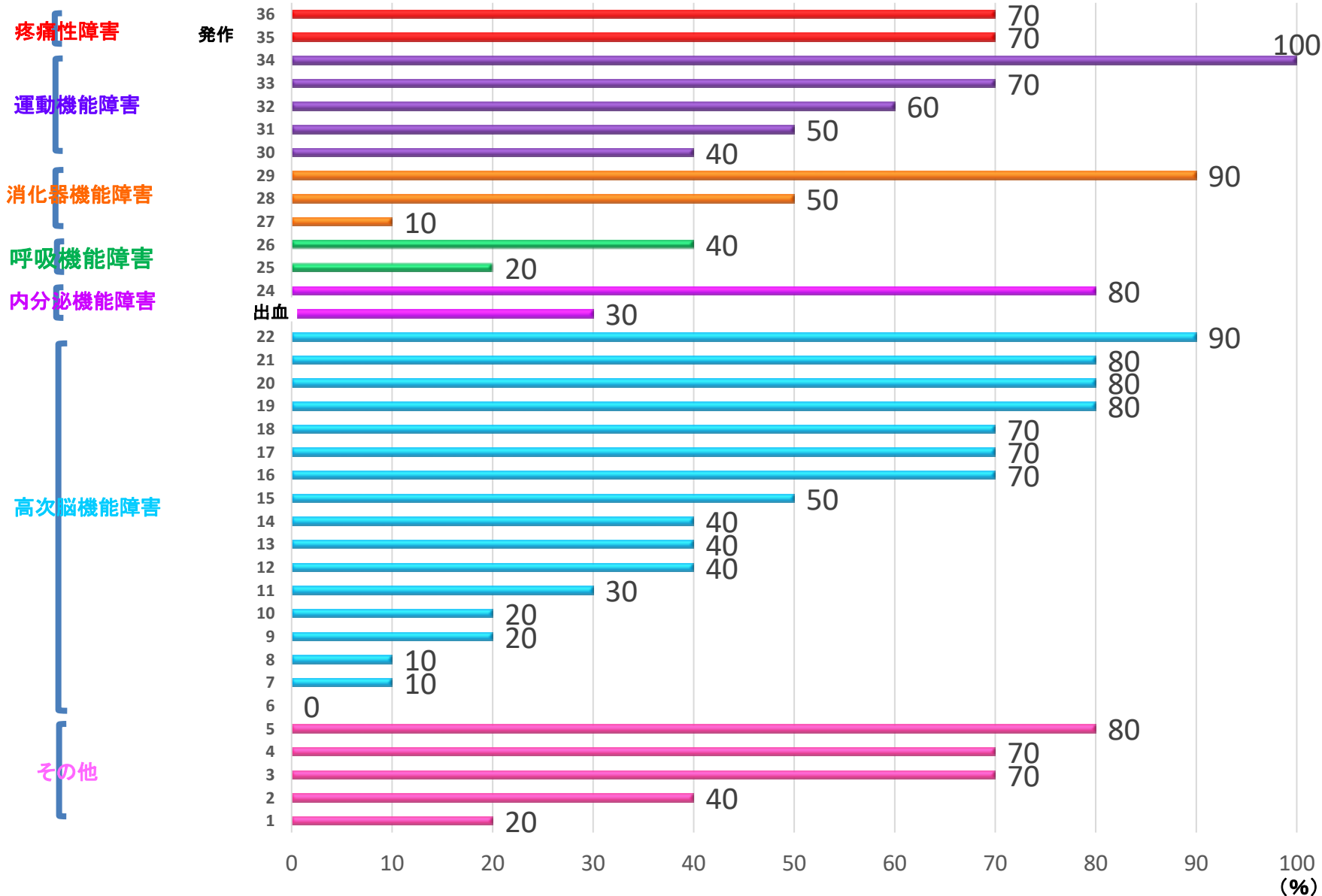
T.T. 20歳, 女性



後遺症：臨床症状の症候的分類と頻度

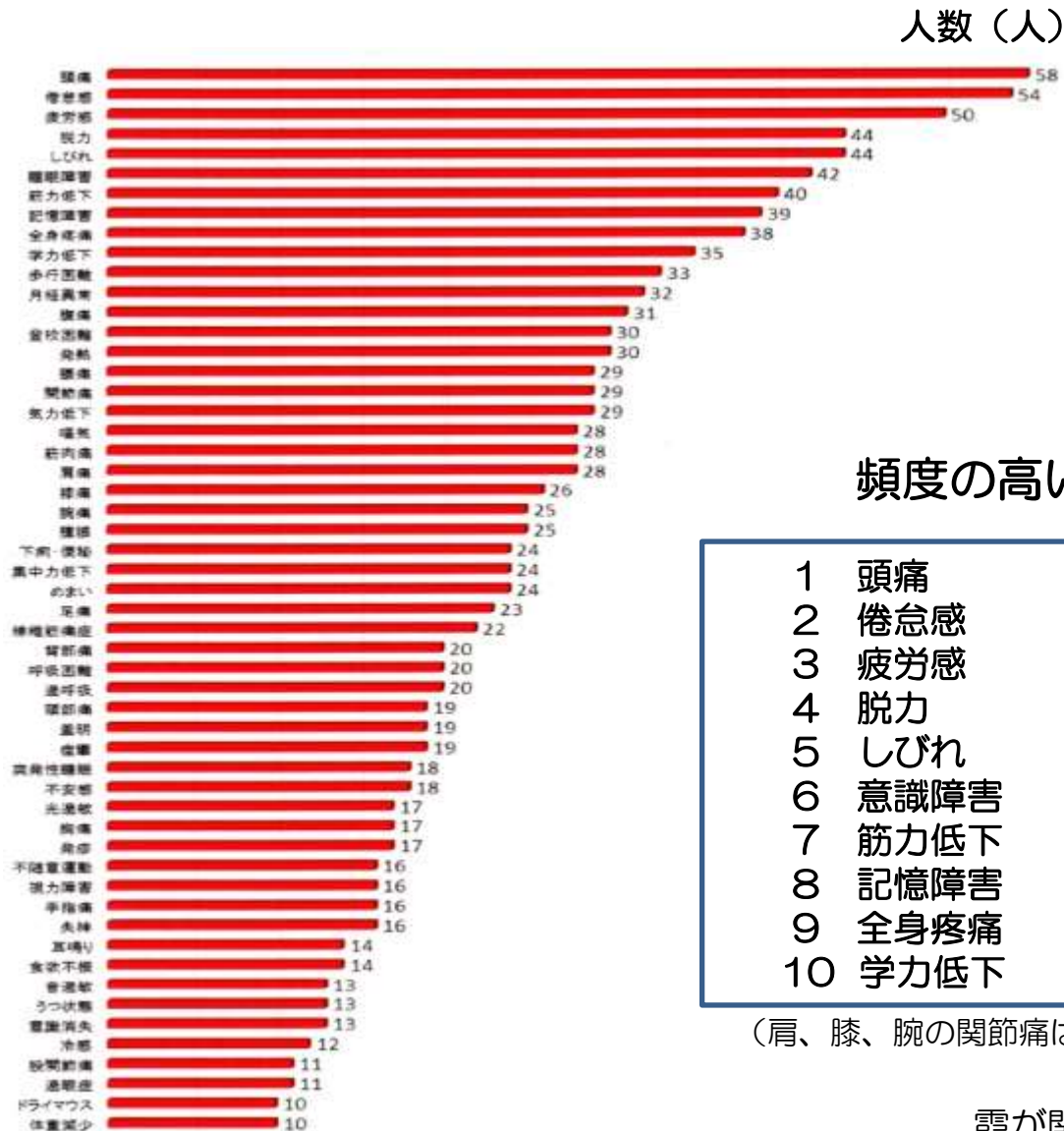
(n=10)

横浜市立大学小児科



後遺症 88症例がした臨床症状の種類と人数

臨床症状



頻度の高い20症状

- | | |
|---------|-------------|
| 1 頭痛 | 11 歩行障害 |
| 2 倦怠感 | 12 生理異常 |
| 3 疲労感 | 13 腹痛 |
| 4 脱力 | 14 関節痛 |
| 5 しびれ | 15 便秘・下痢の反復 |
| 6 意識障害 | 16 集中力低下 |
| 7 筋力低下 | 17 めまい |
| 8 記憶障害 | 18 線維筋痛症と診断 |
| 9 全身疼痛 | 19 過呼吸 |
| 10 学力低下 | 20 羞明（光過敏） |

(肩、膝、腕の関節痛は「関節痛」として一括した)

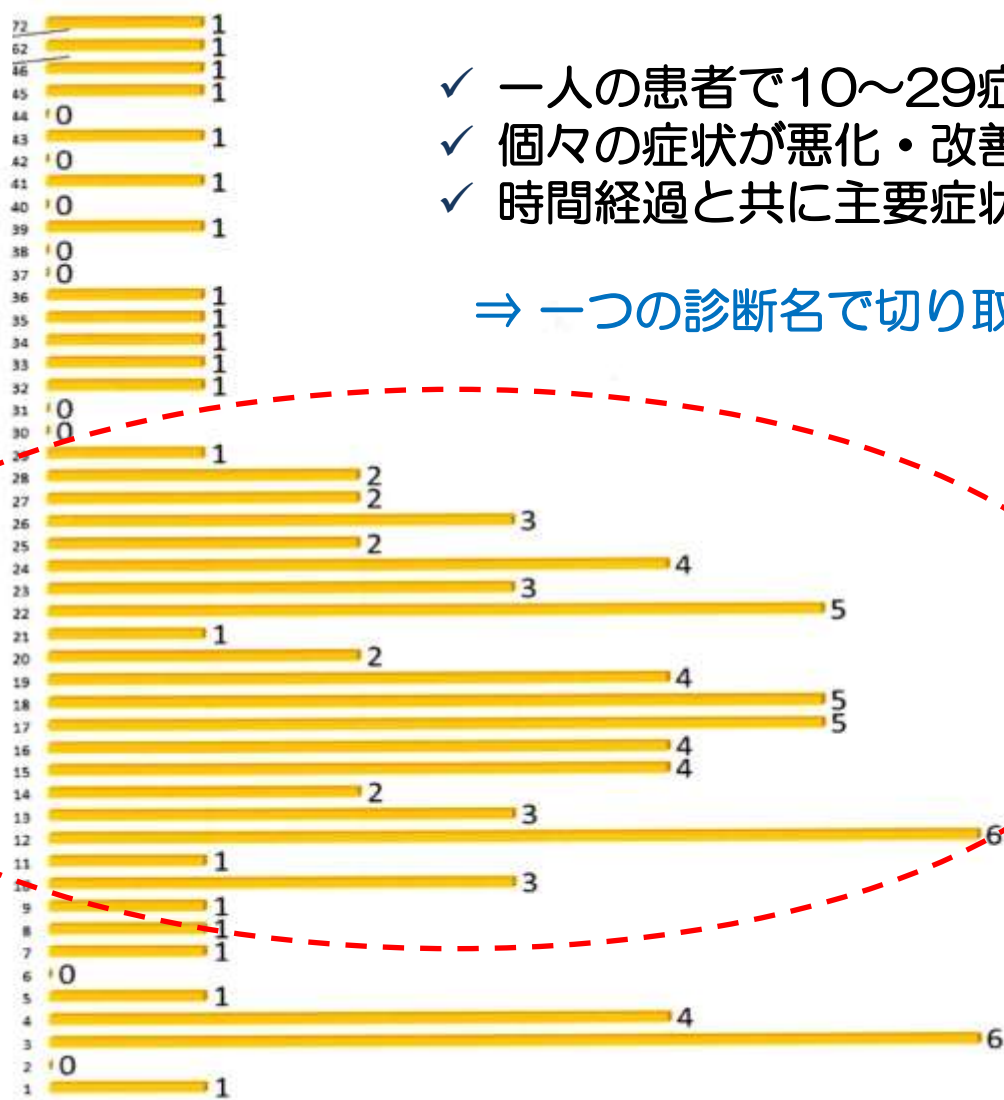
霞が関アーバンクリニック
(難病治療研究振興財団のまとめ)

後遺症 88症例の症状の重複数

- ✓ 一人の患者で10~29症状を重複する。
- ✓ 個々の症状が悪化・改善を繰り返す。
- ✓ 時間経過と共に主要症状が変化する。

⇒ 一つの診断名で切り取るのは不可能！

臨床症状の重複数



人数 (人)

霞が関アーバンクリニック
(難病治療研究振興財団のまとめ)

裁判で証言した国際的にも著名な経験豊かな専門家
(2023年5月から12月)

池田修一 信州大学名誉教授

200名を診察

横田俊平 横浜市立大学名誉教授

約150名を診察

高橋幸利 静岡神経てんかんセンター名誉院長

小児の難治性てんかん、神経難病等の専門家

60～70名を診察

高嶋博 鹿児島大学教授

自己免疫性脳炎・脳症等の専門家

65名を診察

鳥越俊彦 札幌医科大学教授

日本がん免疫学会理事長

椿広計 統計数理研究所所長・名誉教授

応用統計学の第一人者

マスメディアが報じない臨床家の裁判での証言

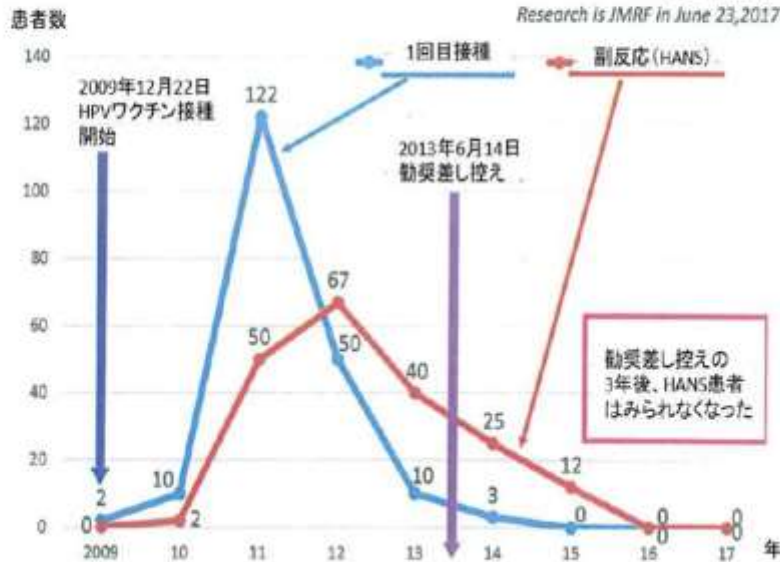
- 共通の特徴をもつ病態
多様な症状が重なって、時とともに変化
既に知られている疾患では説明しつくせない
- 自己免疫性の神経障害
そう考える理由は、
自己抗体の検出など客観的検査結果
免疫治療で改善がみられる
⇒心因性・なまけ病・気のせいではない
- 接種状況と患者発生の上に時間的な相関

接種と新規発症の時間的相関 —積極勧奨を中止した後、新規患者なし—

横田俊平

池田修一

2009年から2017年までのHANS患者数とHPVワクチン接種の推移 (n=196)



横田証人が大阪地裁に提出した意見書21頁より

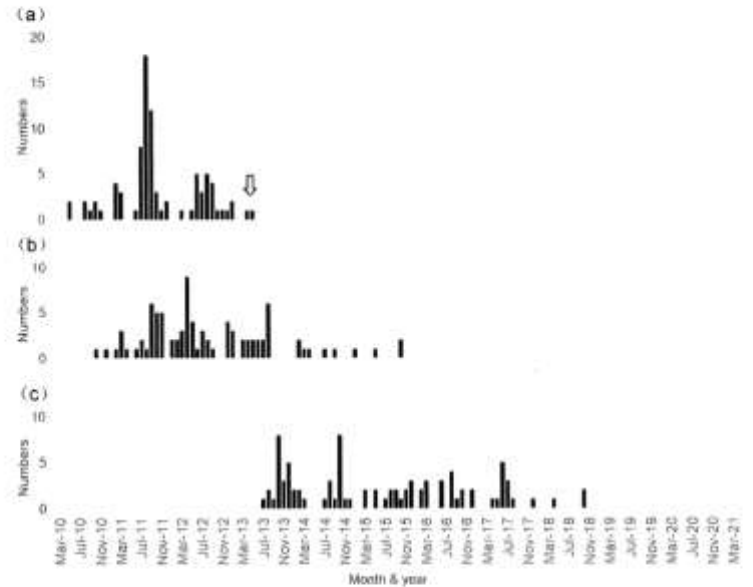


図1 (a) 各月にHPVワクチンの初回接種を受けた患者の数。矢印は厚労省がHPVワクチン接種の推奨を中止した時期。(b) 各月に症状が出た患者の数。(c) 各月に当院を受診し、HPVワクチン接種後の障害と診断された患者数。

高嶋博 積極勧奨再開により新規患者

専門家たちが「自己免疫性の神経障害」と診断する証拠は

➤ 自己抗体検査

自律神経や認知機能の働きを阻害する自己抗体が有意に増加

高橋P. NMDA型グルタミン酸受容体抗体（脳脊髄液）

池田P・高嶋P $\alpha 1$ アドレナリン受容体抗体等（血清）

➤ SPECT検査

大脳辺縁系、脳幹部、視床下部等の血流が有意に低下

池田P・高嶋P・高橋P

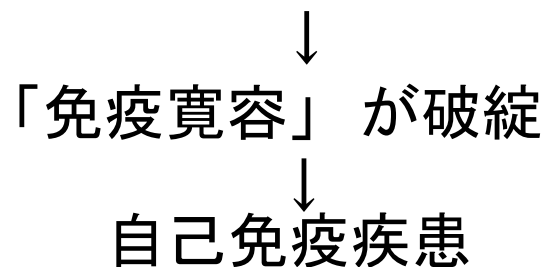
➤ 免疫治療

免疫抑制剤・免疫吸着療法で一定の効果

HPVワクチンの危険な成分

- ▶ **免疫を過剰に活性化**
抗原であるL1-VLPに強い免疫原性(実験論文)
アジュバントでさらに増強
サーバリックス : AS04 自然感染の10.5~27倍
ガーダシル : AAHS アジュバントなしの100倍

- ▶ **分子相同性**
L1-VLPとヒトのアミノ酸配列の部分一致多数



お医者さんたちが、間違った助言をするわけ ワクチンとひとくちにいても。。

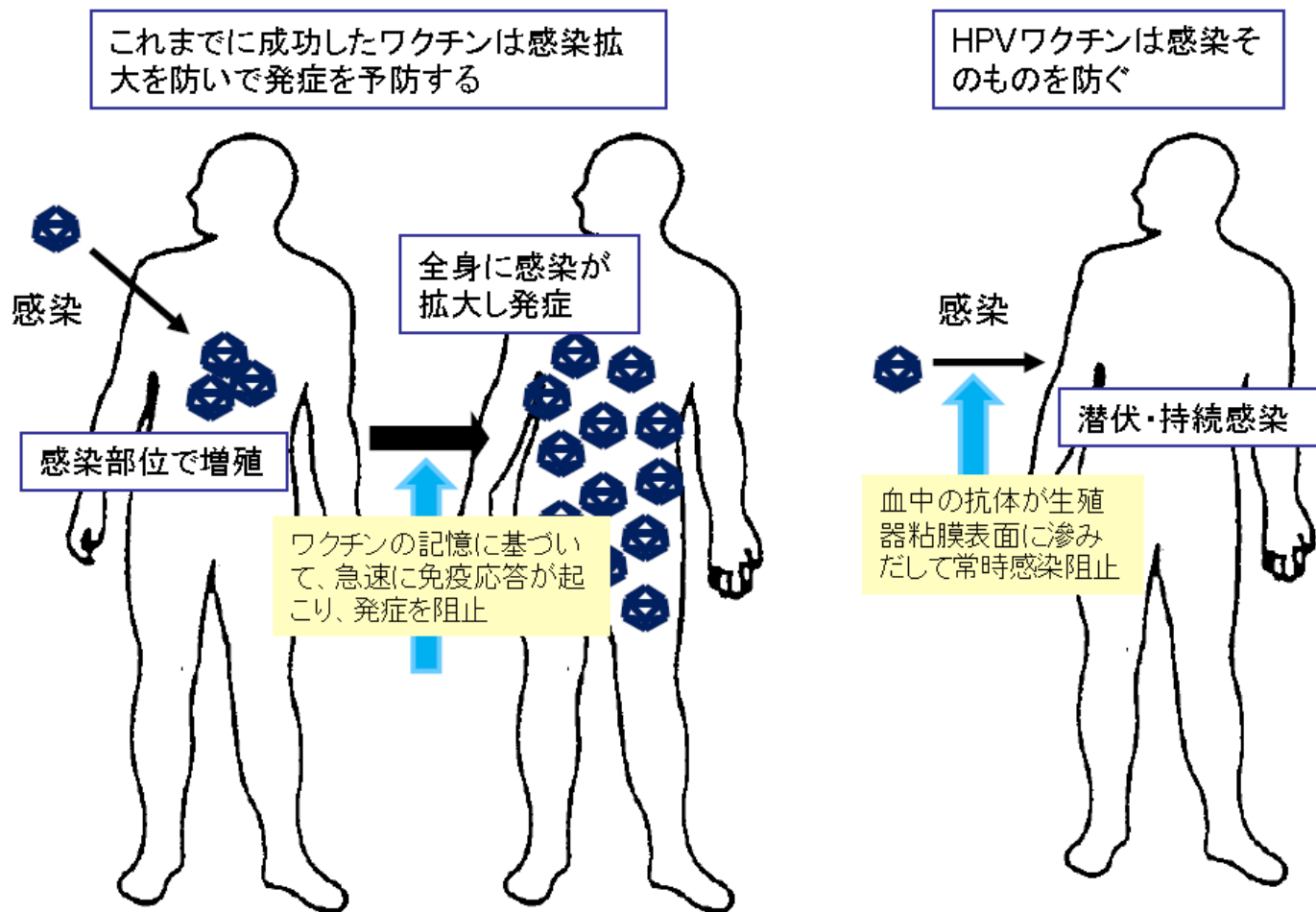
ハシカや風疹など弱毒化ワクチンは、
もともとのウイルスの中から、
病気は起こさないけれど、免疫をつくる力が残っている株をつかっています。

一方、
HPVワクチンは、次のページような危険な操作をしています、
女性たちの人生が無しになってしまっているのは、そのためです。

ごくごくひらたくいうと、
ワクチンといっても、
・自然で比較的安全なつくられ方をする従来のもの
・危険な操作をくわえた新しいもの
2通りありがあり、この2つを区別して考えなければならないのです。

お医者さんたちが医学部の学生時代は
弱毒系・不活化系のものばかりでした。
そのため、
「少々副作用があっても、ワクチンを打った方がいい」と
悪気なく、思い込み、発言してしまっているのでは、ないでしょうか。

HPVワクチンの特徴



「チャレンジング」が裏目にでて

- HPVは感染すると上皮の基底膜に潜伏してしまう
→感染自体を防ぐことをめざす
- 抗体が生殖器の粘膜に常時しみ出すように設計
- 主要成分(L1-VLP)に強力な免疫刺激力があるのに、
さらに新開発の強力なアジュバント添加

「HPVワクチンは非常にチャレンジングな、新しいコンセプトのワクチンです。」

(2010年8月27日第12回厚生科学審議会感染症分科会予防接種部会議事録
理化学研究所新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター
チームリーダー 神田忠仁参考人発言)

アメリカでも143件の訴訟が起きています

<https://www.wisnerbaum.com/blog/2023/july/gardasil-hpv-vaccine-studies/>

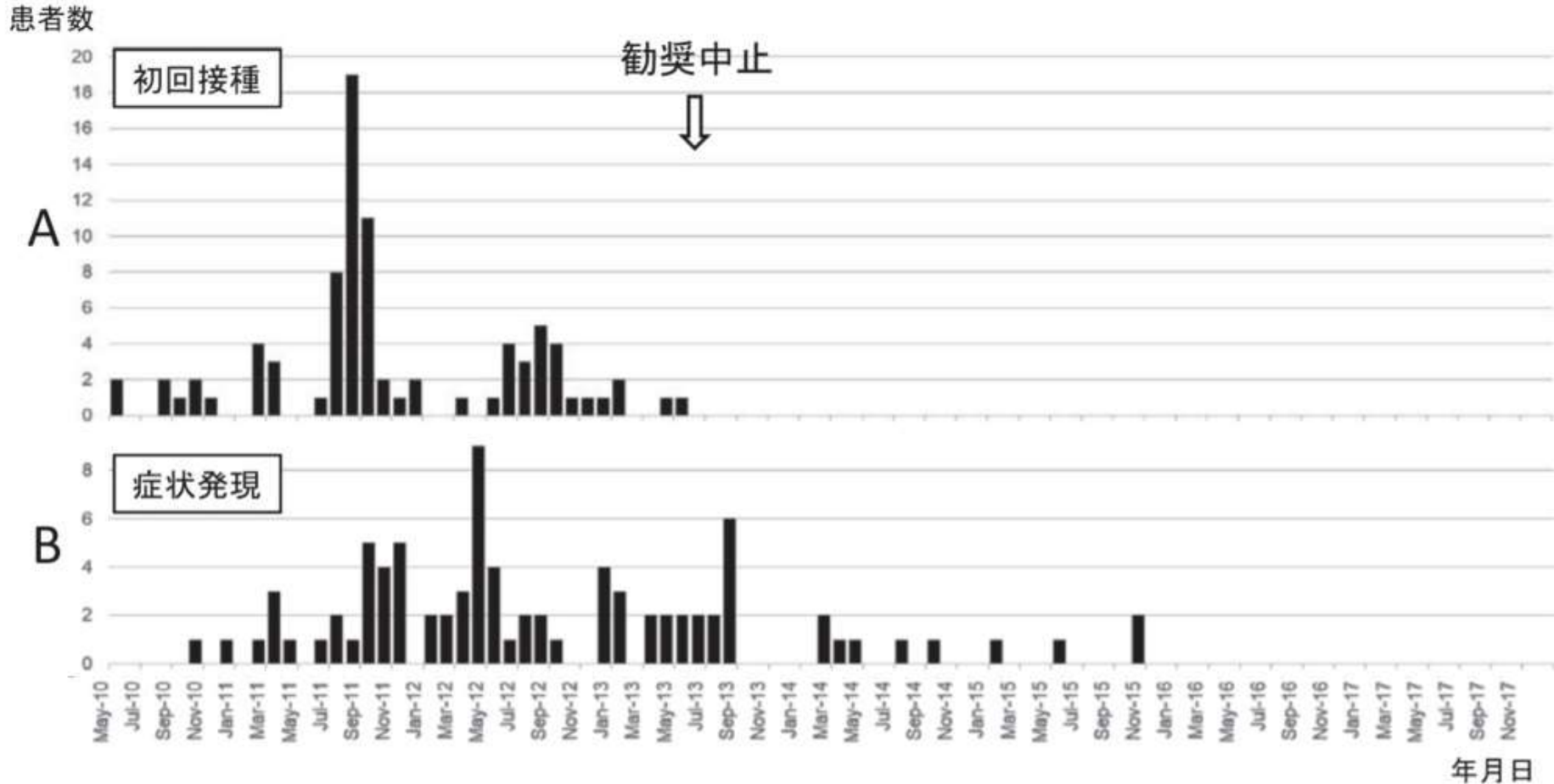
July 17, 2023 | By Wisner Baum

There is a growing body of research outlining the risks associated with the HPV vaccine, Gardasil, which include (among others):

- Autoimmune disorders
- Chronic fatigue syndromes
- Chronic pain syndromes, including Chronic regional pain syndrome (CRPS)
- [Death](#)
- [Dysautonomia](#)
- Fibromyalgia
- Guillain-Barré syndrome
- Idiopathic Thrombocytopenic Purpura (ITP)
- Lupus
- Neurological disorders
- [Postural orthostatic tachycardia syndrome \(POTS\)](#)
- Reproductive disorders, including premature ovarian failure (POF) and infertility
- Small fiber neuropathy

If you have suffered from side effects after Gardasil, please [contact the HPV vaccine attorneys](#) at Wisner Baum to learn more about your legal rights. We offer free case evaluations

キノホルムをやめたら……スモンという病気がなくなりました
 サリドマイド剤の発売をやめたら・・・フォコメリアの赤ちゃんが
 ウイルスが生きている非加熱製剤をやめたら・・・薬害エイズは過去の
 矢島健康局長通知が出たら症状発現が激減…それなのに再開(▼▼)



その背後に。。。

・薬害を引き起こす四位一体 製薬会社・専門医・政治家・行政

細田博之・衆院議長

(HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟会長)

⇒総理と厚生労大臣に

「再開しないと期限切れで廃棄することになり、
メーカーにご迷惑」(文書が残っています)

公明党 副代表・松あきら議員が強力に推進

(議員の夫は、サーバリックスを発売する
英国のグラクソ・スミスクラインの顧問弁護士)

(その後、公明党幹部のお孫さんが、
子宮頸がんワクチン後遺症になり

「高校をお情けで卒業させてもらう結果になってしまいました。

本が大好きな子だったのに。。。」

そうって、私の前で、涙ぐむ幹部)



誓いの碑

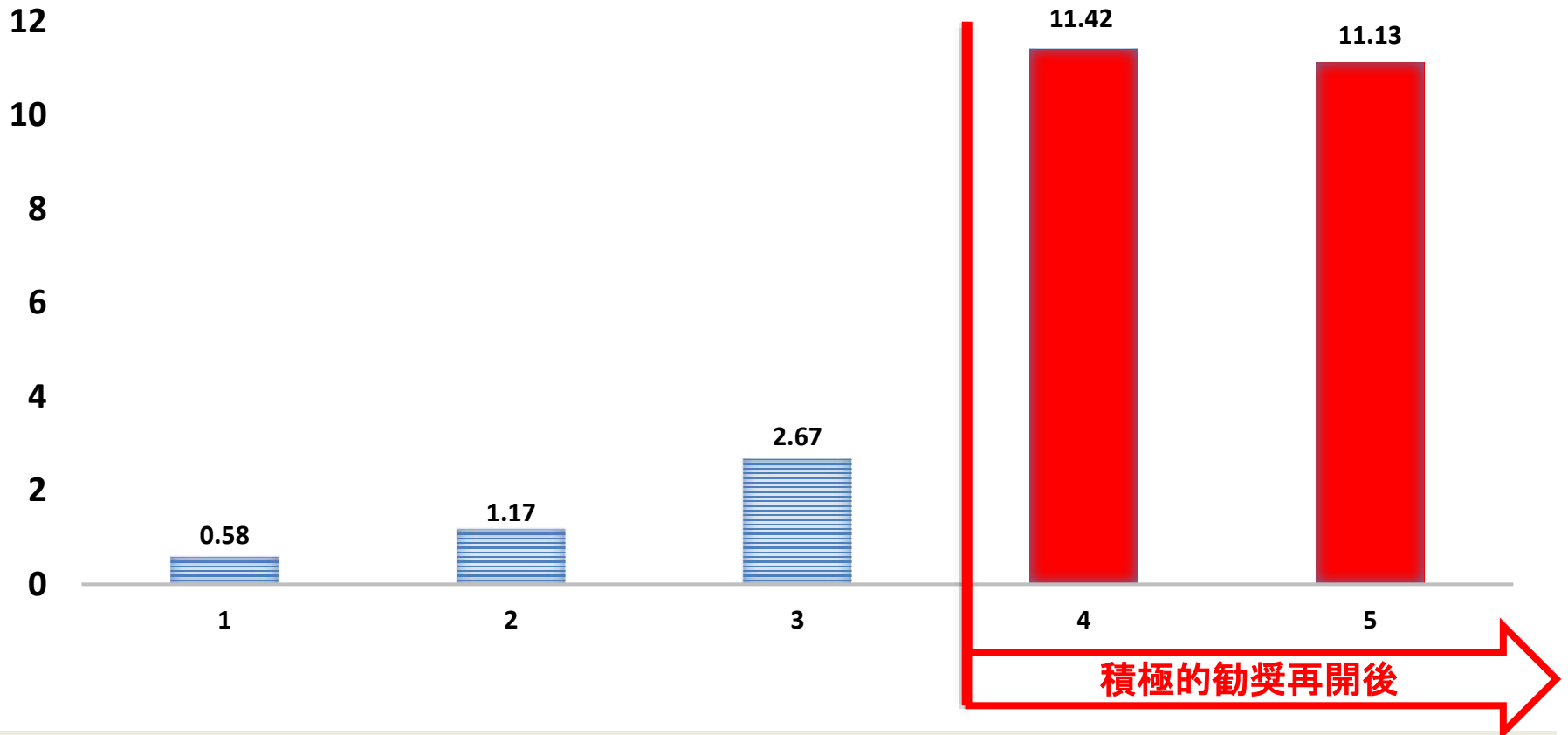
命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、
田V感染のような医薬品による悲惨な被害を
再び発生させることのないよう医薬品の安全
性・有効性の確保に最善の努力を重ねていく
ことをここに銘記する

千数百名もの感染者を出した
「薬害エイズ」事件
このような事件の発生を反省し
この碑を建立した

平成11年8月 厚生省

再開したら、案の定 協力医療機関の新規受診患者激増

月平均の新規受診者数(人)



推計接種者 約2万人 約3万人 約15万人 約53万人 約42万人超

激しい頭痛、黒板の字が読めなくなって休学した天草の高校生、相原咲紀さん。

娘のためと、接種を勧めてしまった母・美紀さんの苦悩と後悔。

咲紀さん、録画も激しい頭痛が、翌日はさらに

<https://www.youtube.com/watch?v=sflpfZwNtZQ>



積極勧奨を再開すると犠牲者が続々(/o\)

そのおひとりが、天草の相原咲紀さん

- 行政から**接種の案内**
- 副反応についてネット検索、産婦人科医に質問したけれど「心配ない」
- **接種**
- 副反応：痛み 視覚異状 著しい疲労
- 地元医療機関受診→**因果関係認めない、紹介状書けない**
- 厚労省へ相談→地域医療センターに相談→紹介状
- **協力医療機関の大学病院受診**
検査で異状なし→「これ以上何もすることありません」
「こうやって生きている人いますよ」
- 自力で調べ**鹿児島大学**に電話
→受け入れ、治療→**症状が、一部改善**
「決して、見捨てませんよ」と病院

拝啓

このたび当医会ならびに東京小児科医会の協働で作成致しました「HPV ワクチンリーフレット」につきまして、本年2月5日付けで貴殿よりその内容についてご指摘を頂きました。両医会で協議を行い、以下のように致しましたので、ご連絡申し上げます。

敬具

産婦人科・小児科など
専門家のサイトにも、
ご用心！
記

① リーフレットについて以下のように修正しました。

修正箇所

	修正前	修正後
表面	・子宮頸がんは20～30歳代の若い女性に多い病気です。 ・このがんのために毎年約3000人の若い女性が命を失っています。	・子宮頸がんは20～30歳代を含む女性に多い病気です。 ・このがんのために毎年約3000人の女性が命を失っています。
裏面	・HPVワクチン それは子宮頸がんから若い女性の命を守るワクチンです。	・HPVワクチン それは子宮頸がんから女性の命を守るワクチンです。

② 上記の修正箇所を本会ホームページなどに掲載し、会員はもとより修正前のリーフレットをすでに利用された方、まだ手元にお持ちの方など多くの皆さまに幅広く周知いたします。

以上

2021年2月25日

葉害オンブズパースン会議
代表 鈴木利廣 殿

HPV ワクチンリーフレットについて

一般社団法人 東京産婦人科医学会
会長 山田正典



拝啓

このたび当医学会ならびに東京小児科医学会の協働で作成致しました「HPV ワクチンリーフレット」につきまして、本年2月5日付けで貴殿よりその内容についてご指摘を頂きました。両医学会で協議を行い、以下のように致しましたので、ご連絡申し上げます。

敬具

記

① リーフレットについて以下のように修正しました。

修正箇所

	修正前	修正後
表面	・子宮頸がんは20～30歳代の若い女性に多い病気です。 ・このがんのために毎年約3000人の若い女性が命を失っています。	・子宮頸がんは20～30歳代を含む女性に多い病気です。 ・このがんのために毎年約3000人の女性が命を失っています。
裏面	・HPVワクチン それは子宮頸がんから若い女性の命を守るワクチンです。	・HPVワクチン それは子宮頸がんから女性の命を守るワクチンです。

② 上記の修正箇所を本会ホームページなどに掲載し、会員はもとより修正前のリーフレットをすでに利用された方、まだ手元にお持ちの方など多くの皆さまに幅広く周知いたします。

男性にHPVワクチン

定期接種 当面見送り

厚労省委

子宮頸がんなど複数のがんの原因となるヒトパ

ピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンの男性への接種について、厚生労働省の専門家委員会は14日、費用対効果に課題があるとの見方を示した。検討を続けるが、男性の定期接種は当

面見送られる見込みとなった。

HPVワクチンは女性の子宮頸がん予防を目的に、小学6年から高校1年相当の女性を対象に定期接種化されている。子宮頸がんの主な原因は性交渉によるHPVへの感染。女性の感染機会を減らす観点などから、厚労省は男性の定期接種化に向けた議論をしていた。

現在日本で男性に認められているのは、4種類のHPV型を防ぐ4価ワクチンの3回接種のみ。

厚生省が
発表すれば
書く
という

嘆かわしい現実

3月14日（木）朝日新聞第3社会面

◆厚生労働省・小委 男性へのHPVワクチン定期化を見送り、費用対効果悪く

厚生労働省の厚生科学審議会「ワクチン評価に関する小委員会」は14日、男性へのHPVワクチンの定期接種化を当面見送る方針を決めた。MSDの4価ワクチン「ガーダシル」を3回接種した場合の費用対効果について、最も前向きに見積もっても経済性の基準値を上回っており「課題がある」と判断した。。

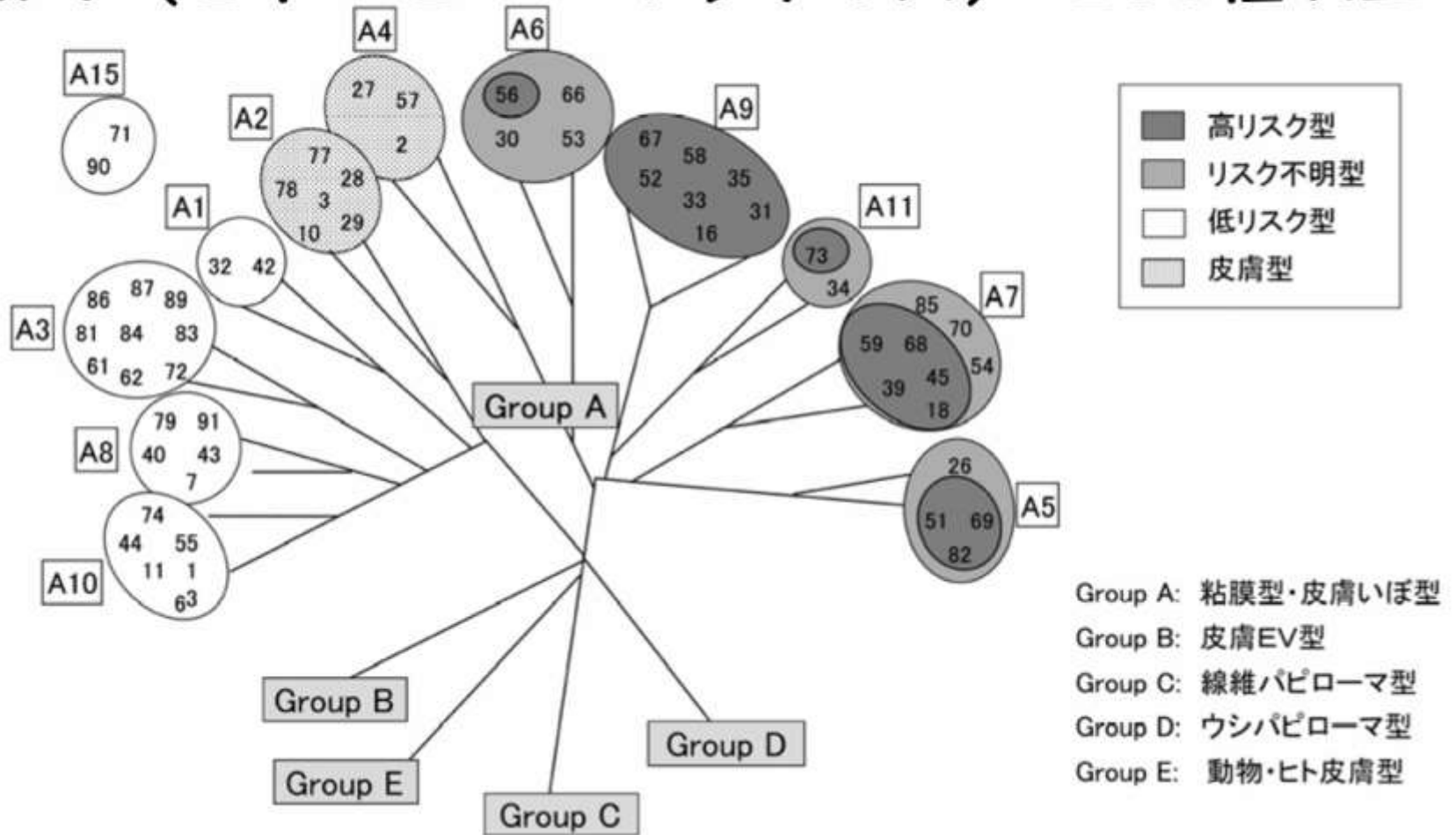
ガーダシルをめぐるのは、従来の子宮頸がんに加え、男性を含む肛門がんや尖圭コンジローマの予防に対する適応が20年に追加。これを受けて**国立感染症研究所**が、定期接種化に向けてワクチンの有効性や安全性、費用対効果の追加調査を行っていた。

この日に報告された調査結果では、肛門がんと尖圭コンジローマの予防効果のみを考慮した場合のガーダシルのICER（増分費用効果比）は約2億3459万円/QALY（質調整生存年）と、**基準値の500万円/QALYを大幅に上回った**。薬事承認されていない中咽頭がんと陰茎がんの予防効果や、男性から女性への感染を予防して間接的に子宮頸がんを減らす効果まで幅広く考慮しても、ICERは約584万円/QALYと基準値以上だった。

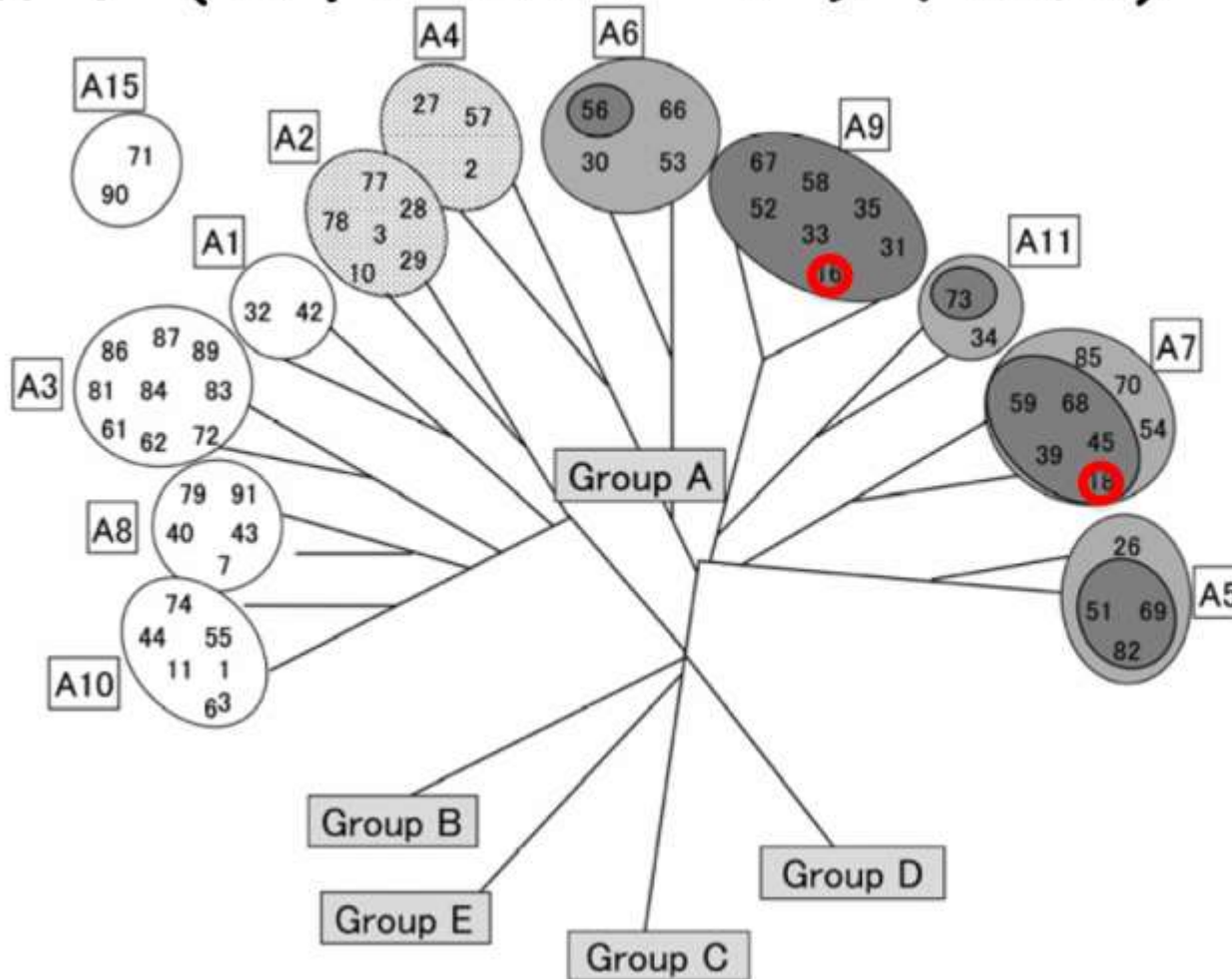
（医薬経済社）

効果がなく、 無駄づかいなのに、なぜ??

HPV (ヒトパピローマウイルス) 200種以上



HPV (ヒトパピローマウイルス) 200種以上

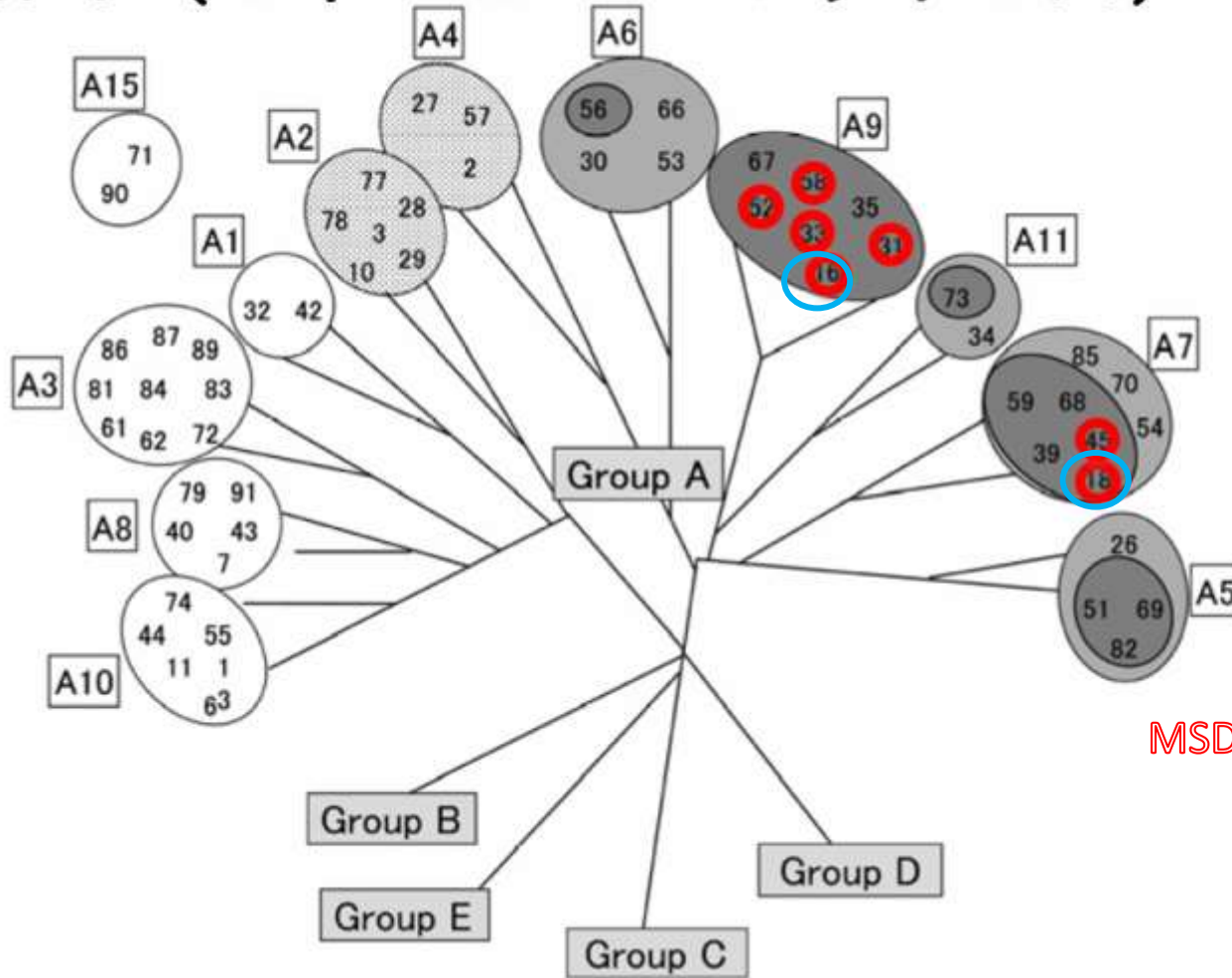


HPV16、18

サーバリックス
GSK英国
2009年
発売開始

ガーダシル
MSD(メルク・アメリカ)
2011年
発売開始

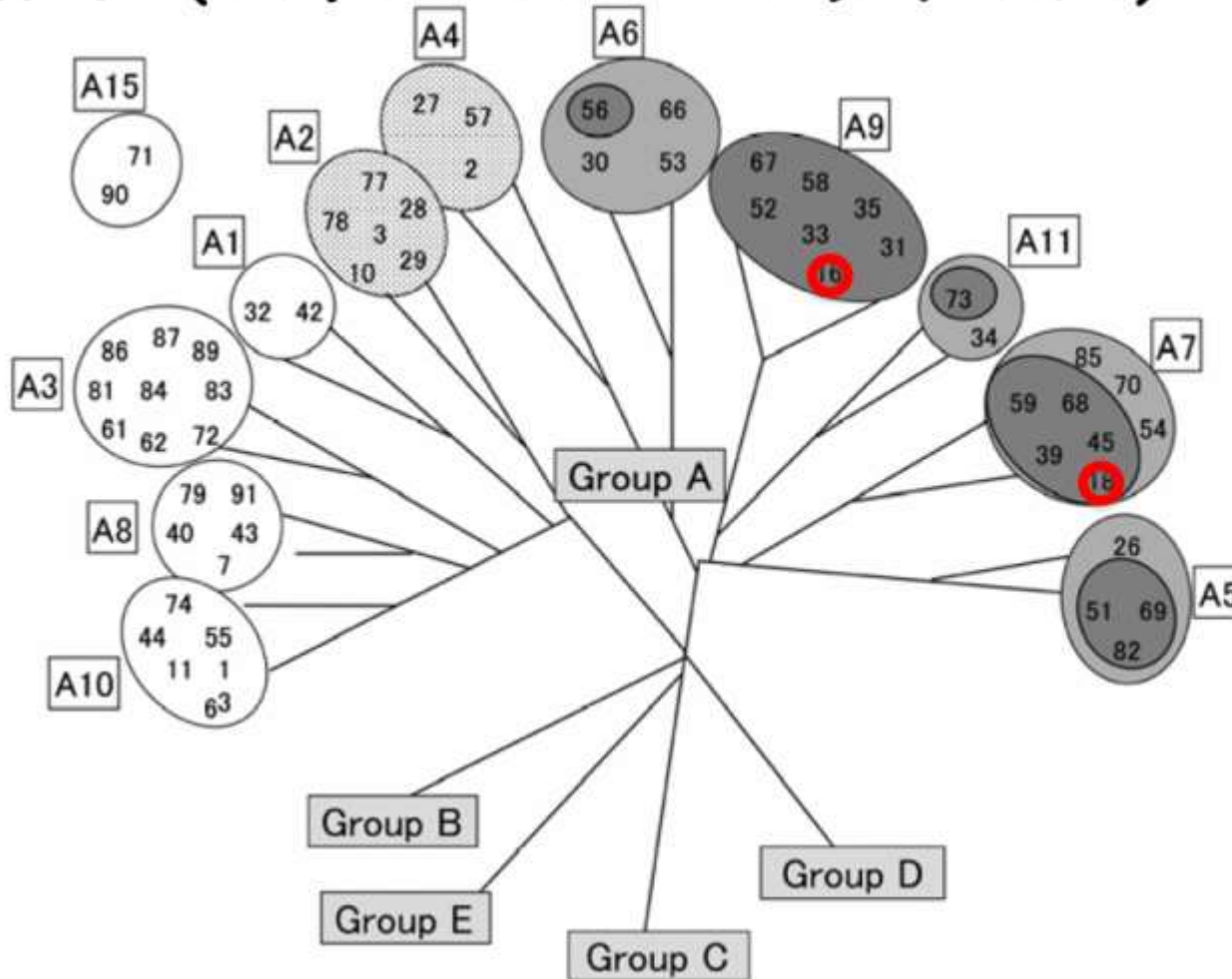
HPV (ヒトパピローマウイルス) 200種以上



HPV31,33,45,52,58
⇒ シルガード9

MSD(メルク・アメリカ)
2021. 2発売開始

HPV (ヒトパピローマウイルス) 200種以上



HPV16、18

ガーダシル
MSD(メルク・アメリカ)
2011年

売れ残り

さあ、どうする？

在庫一掃のために

ガーダシルの男の子への接種 大儀名分は

➤ 肛門がん予防のため

極めて稀な癌

治療法確立・多くは完治

➤ 尖圭コンジローマ予防のため

自然治癒が多い良性病変、治療法確立

➤ パートナーを子宮頸がんから守る

証明されたエビデンスがないのです

➤ 中咽頭がん予防

効果が証明されず、ワクチンとして承認されず

なぜ男の子にまで?

Disease mongering

「病気」の売り込み行為

製薬会社などがその販路を広めるために、医学界と共同歩調を通して、特定の病気をより重要な課題として社会問題化し、治療的介入を進め、その治療薬と特定の病気の知名度が上がること。

池田光穂、大阪大学名誉教授

文化人類学・民俗学,文化人類学,科学社会学・科学技術史,地域研究,科学社会学・

monger

1 ((主に英))(小売り)商人 a fishmonger 魚屋.

2 つまらない[くだらない]ことに忙しく立ち回る人, …屋
a gossipmonger うわさをまきちらす人.

子宮頸がんワクチン問題～社会・法・科学（みすず書房）

第13章 「無」から生み出された市場

金銭面だけをみれば、メルク社（日本ではMSD）とグラクソ・スミスクライン（GSK）社のHPVワクチンは成功を収めてきた。

2017年、メルク社は、世界でガーダシルとガーダシル9を23億ドル売り上げ、2016年の22億ドルを上回った。

同一年、GSK社は、世界で1億3400万ポンド（約1億8600万ドル）を売り上げたが、2011年の最高売上額の5億600万ポンド（約7億800万ドル）に比べれば少なかった。

現在までに、この二つの巨大製薬会社は世界中に2億7000万回接種以上のHPVワクチンを流通させてきた。

ガーダシルは、メルク社が財務全体を健全に維持するうえできわめて重要である。メルク社の財務報告書（10-K）には、ガーダシルに未知の副反応が発見されたり、市場撤退したりすることになれば、会社全体の収支に悪影響が出ると記載されている。GSK社も同様に、サーバリックスが主力製品の一つであり、サーバリックスの売り上げは会社全体にとって重要であると記載している。

世界最大級の両社が今やその生き残りをHPVワクチンに依存しているとは、どういうことなのか。メルク社とGSK社はいかにして「無」から「市場」を生み出したのか。

（略）

「病気のブランド化」子宮頸がんへの恐怖を売り込む

FDAがガーダシルを承認したのは、バイオックスの市場撤退から2年も経たない2006年6月だった。ところが、メルク社の消費者に向けた直接広告（DTCマーケティング）攻勢が始まったのは前年2005年9月、承認7か日前のこ

子宮頸がんワクチン問題

社会・法・科学

メアロー・ホーランド
キム・M・ローゼンバーグ
アイリーン・イオリオ
監修 佐藤 龍二



みすず書房

第1章 子宮頸がんワクチンに見る利益相反

検討委員は誰の味方？ / 「**専門家会議**」の利益相反 / 政治家は、こう動く

宣伝に貢献したジャーナリズム / **WHOあなたまで!** / ロビイストはこう暗躍する

第2章 **医療界が溺れてしまう構造**

第3章 犠牲になる患者たち

第4章 **メディアが共犯者になる**…地獄への道は、善意の小石で敷きつめられている

第5章 癒着を引きはがす処方箋



2014年4月19日 3時間半、席を立つひとがいなかった夜の部

このシンポジウムの記録は、えにしのHP（「ゆきえにし」で、出てきます）の「**ことしもまた「えにし」の会の部屋 2014**」

を

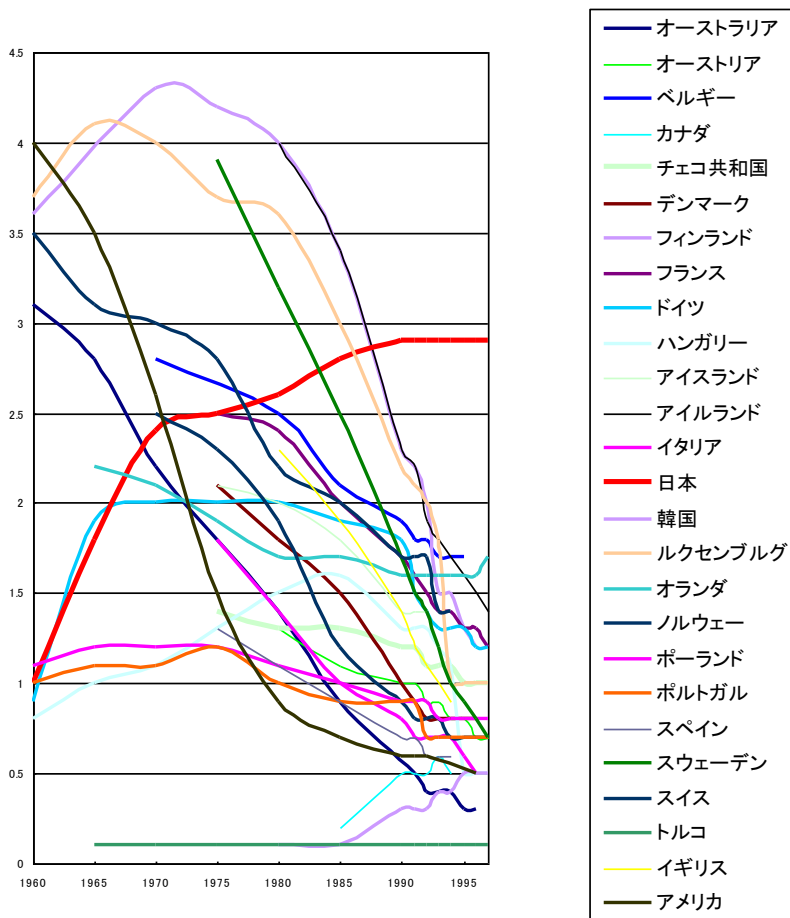
同じ構造が、たとえば精神医療の分野でも。

日本本の人口は世界の2%足らず

精神科ベッドはOECDの37%

空きベッドに認知症の人を⇒国際常識の対極にあるもの

人口1000人あたりの精神病床



NHK「クローズアップ現代」より



日本の精神病院の身体拘束
人口あたり
アメリカの270倍、
オーストラリアの580倍
ニュージーランドの2000倍



思い出の家具に 囲まれた自分の部屋 ←デンマーク

「徘徊するから」
と回廊式にする日本
↓

デメンシアと呼ばれる人々の
異常な行動は
異常な環境と
異常なケアへの
正常な反応なのです

クリスティン・ブライデン
(オーストラリア)





よまざき・まなぶ 2010年から日本精神科病院協会会長。22年5月の厚労省の院内施設社会に突如、参考人として出席し、議論の場向きを捉えるなど活躍が大きい。18年には協会の機関誌に「(患者への対応のため)精神科医にも学歴を持たせてくれ」という部下の医師の発言を引用し、物議を醸した。安倍晋三元首相と親しかったことでも知られる。日本大大学院卒業。

世界でも最も身体拘束が行われている日本の精神科病院。厚生労働省では現在、拘束要件の見直しが進んでいない。山崎学会長(82)はどうかを尋ねた。「こちら特報部」の単独インタビューに応じた山崎氏の言葉を録音する。(木原直子)

精神科病院協会 山崎学会長に聞く

現場 法に沿っている
「現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない」と、山崎氏は強調している。現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない。

「現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない」と、山崎氏は強調している。現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない。

なぜ心が痛む？自殺・けがの方が心配

「自身の処分を悩む」
「現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない」と、山崎氏は強調している。現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない。

地域で見守る？誰が？あんた、できんの？

「現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない」と、山崎氏は強調している。現場で拘束するかどうかは、医師の判断に委ねるべきであって、法律がそれを支えるべきではない。

海外入院が少ないだけ
「海外で入院する方が少ないのは、日本の精神科病院が、海外で入院する方が少ないからではないかと考えています。海外で入院する方が少ないのは、日本の精神科病院が、海外で入院する方が少ないからではないかと考えています。」

■日本精神科病院協会の山崎学会長インタビュー(2023年7月7日付)

こちら特報部

社会構造・偏見 変わんねえよ

「偏見がなくなり、社会的に受け入れられたい」。山崎氏は、精神科病院の現状について、偏見がなくなり、社会的に受け入れられたいと述べている。

長期入院 僕は幸せだと思う

「長期入院でも幸せだと思う」。山崎氏は、長期入院について、自分は幸せだと思うと述べている。

続く理由

「理由は何もない」。山崎氏は、理由について、何もないと述べている。

国連廃止勧告 余計なお世話

「国連の勧告は余計なお世話」。山崎氏は、国連の勧告について、余計なお世話と述べている。

当事者「退院したかった」

「退院したかった」。当事者の声として、退院したいという声が届いている。



「退院したかった」。当事者の声として、退院したいという声が届いている。

「認知症政策の司令塔は精神科病院」と
方向づけたのは。。。



日本精神科病院協会山崎会長のFacebookより

R8カンテレ

報道ランナー

虐待

無抵抗の患者に無理やり…
暴行など 看護師ら6人逮捕

神戸・西区 神出病院

ホースやバケツで水を掛ける

全裸にさせた上で椅子に座らせ、



松崎 勲

3連休の最終日！今日は、79でした

＼(^o^)/

ーさん、安倍 晋三、増岡 聡一郎、
藪本 雅巳

携帯アップロード・2014年7月21日

神出病院理事長の藪本雅巳氏は
あべちゃん⇕やぶちゃん
の間柄を自慢。

県庁・市役所は忖度

副作用は薬が起こす・薬害は人が起こします

- キノホルムの販売を中止したら……スモンという病氣はなくなりました
製薬会社は「ウイルス原因説」をもちだして反論。
被害者をふやす結果を招きました
- サリドマイドの発売をやめたら・・・フォコメリアの赤ちゃんが激減。
製薬会社は、「妊婦にも安全」と広告。
メディアも厚生省も、海外の報告を無視。
海外より10カ月遅れたために
防げたはずの被害児が
100人も 生まれてしまいました
- 生きてウイルスが入っている非加熱製剤。やめたら・
・・・薬害エイズは発生しなくなりました
- 加熱製剤を当時つくれなかった
日本の製薬会社を保護するために、
厚生省は危険な製剤の中止を2年送らせ、
そのために、1000人以上が感染



誓いの碑
命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、
HIV感染のような医薬品による悲惨な被害を
再び発生させることのないよう医薬品の安全
性・有効性の確保に最善の努力を重ねていく
ことをここに誓う
「薬害エイズ」事件
このような事件の発生を反省し
この碑を建立した
平成11年8月 厚生省

副作用は薬が起こす 薬害は人が起こします

・子宮頸がんワクチンの場合

治療薬と違って、打たれるのは、
健康な少女たち

1学年60万人 費用1人 5万円
1学年で300億円が

税金から製薬会社に
打った医師には、1人 1万4000円が

そして、いま、男の子にまで。。。



誓いの碑

命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、
田V感染のような医薬品による悲惨な被害を
再び発生させることのないよう医薬品の安全
性・有効性の確保に最善の努力を重ねていく
ことをここに銘記する

千数百名もの感染者を出した
「薬害エイズ」事件
このような事件の発生を反省し
この碑を建立した

平成11年8月 厚生省

医療・福祉問う「えにしメール」

発信23年、メル友ふくらみ3000人

大熊由紀子

◆認知症とドタバタ戦わされたレオマン／効果は間／有難事が高齢・行政が援助すべきは別の側面

◆子猫がぐちゃぐちゃ寝顔顔開いて、新卒就職が「川田さん」とも呼んでシボ、オナライン参加も可能

◆「存在証明をめぐり」精神科病院の「えにしメール」を設立／看護婦大天民に感謝

●「えにしメール」は、朝日新聞から発信の場を失った

認知症薬レカネマブ効果疑問

子宮頸がんワクチンで被害者

精神科ナース拘束やめたい

それは、わけがあります。大卒ナースが軽はずかしくな

いでも、目がたいては重

要な場として、胃腸のミタ

シのときなニースが敏ってい

るからです。

「えにしメール」は、朝日

新聞から発信の場を失った

二〇〇一年に始めたの、二十三年のじやます。

同年に始まったのが、保健と医療、現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ集いです。大阪大卒の麻生を核として集まるともなつた三百人余りの方々

はいずれも、私は感謝本

でつながります。けれど、この日暮つたのは、医療、福祉

そのほか、お互い、まろ、違う文化の人。でも情とあると面白い、というので「お年

もまたのプレスセンターで会いたい」というのはなしに開催しました。

二十七年の第三回のえにしシンポジウムのテーマは「夢・願い・怒り」のテーマです。関係者の妻、岡田さんと「精神科の闘い」を生み出す構造改革の道でした。

二つめのシボには、朝日、読者、東京、NHK、専任、読者はライバルのジャーナリストが登壇し、志を共有したいま

上だ。参加して、この出資に、感謝した出資の方が出展状況の中、本にしてきた

るじやます。

8つのシキタリ

- ① いろんな高名な人で「えにしメール」も「読者ナース」
- ② 登壇は権利なので、「えにしメール」だけで「えにしメール」
- ③ モットは別を破るじや
- ④ 先生、〇〇局長という上下っぽい呼びかけは御法度
- ⑤ ニックネームで呼び合う
- ⑥ どの名も高名な人で「えにしメール」も「読者ナース」
- ⑦ 登壇は権利なので、「えにしメール」だけで「えにしメール」
- ⑧ モットは別を破るじや
- ⑨ 先生、〇〇局長という上下っぽい呼びかけは御法度
- ⑩ ニックネームで呼び合う



おおくま・ゆきこ

略歴
一九六三年朝日新聞入社
東京オリビオン女子進学村取
一九六五年科挙部
一九八四年論議員

コロナのせい、二〇〇〇年からチームになりました。がつかりていたら、思がけないことと大群なのです。海外に住んでいる方、ベッドから起きられない、寝床の方を動かせるようになつたからです。東京までの交通費がいらないので嬉しいという声まで。

二〇〇一年大阪女子学院院長
二〇〇四年から国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム公衆衛生
著書「『寝たがり老人』のいる国」二冊を著する
医療を変えよう日本をさすよう
と七社脱出
「恋するまじろランタイム」
「物語 介護施設二時り・時方」
「感謝」私の社会医療他

この「えにし」の巻は、八つのシキタリがあります。二十三年もつづけているので、この「シキタリ」すっかかりなりました。たまたま「地」は、カウちゃん、たんちゃん、はなちゃん、なたちゃん、まろちゃん、もりちゃん、と母が合って打合せの際、森野上

が、同志になつてしまいま

上だ。厚労局長、認知症の二

人、お医者さん、看護婦さん、ジャーナリストが安んじて取り上げるじやます。



ことしもまた、新たな集いにしを結ぶ会'14!

トークセッション タブーへの挑戦
縁(えにし)を結ぶ会の集い

また、集いに毎年参加してくださる方のあいだに、「えにし」のシキタリ」が広がっていることに最近、気がつきました。部長、先生ならと層書き呼名のを法

度(たび)に、フアースキムでよみあう、新しい絆や縁が生まれるはずですよ。
朝日新聞でいっそう発信の場を失ってから始めた二三日の試みは、大阪大学の教え子たちが



孤児院で育ったサヘル・ローズさんと
児童福祉法抜本改正をすすめた しおちゃん、塩崎大臣と現場の人たち

つくってくれた「えにし」のホームページ <http://www.wabi-wabi.com/>（@wabi_wabi）にして検索するつもりです。いま、数えてみたら、部屋数はなな五十一に増えました

また、朝日新聞時代の記事の追跡にあるメディアで毎年の部屋「隠蔽」だから字を部屋のような硬い「隠蔽」ではなく、「隠し」を挑戦者の部屋「らうんじ

えにし」のような、ほら、ひりする部屋も。

そして、大学の教員になってからはじめた公開講義シリーズ「朝例も超える朝例を朝例に整理してきたら方々の記事も、大学院生修士論文を博士論文を紹介する部屋も、八十三歳になつても、このように書くことを知っているのはなぜだろう。この部屋を書かせていたたいは、はつと気づいたことがあります。

三つの活動のすべでは、朝日新聞で最初に出版した支局長の部屋だったのです。
中野駅前で、一階の階を島屋といっぴの二階の支局長部屋を恐る入ったときのこそです。議院の支局長が、新しい部屋の住所録をメールに置いて、厳かに口を開きました。
「これからここに働く人たちが、君の部屋だ」

住所録はポロポロになり、新聞社を卒業するときはパソコンの住所録になり、数えてみたら五千二人近くに達していました。朝、髪を洗った後、あんなに脱力がある状態は仕掛けなければならぬ。それと、この「部屋」に仲間、助けられたことが。

支局長は続けた。二十を

資料に、九拾して、一を書きこみ。一を開いて十を知るとは部屋としては部屋だ。

この二つの教えが、骨髄移植をしなかった結果が「えにし」ル」にいたしの「えにし」にこの集い」だったのです。
「思えない、思えない、パイルの贈り物」と書いて、ひびく吐かれたときのことと忘れられない。

「思えない、思えない」という文字まの子どもたちが寝た時、どんな気持ちがあるか、想像してみたいのか」

医療者、介護の部署をまわるときは、医療者、介護を「受ける身」の口をまず考えてみよう。それは、あつと、あつと、支局長の補い、補いのせい、かもしれませ

ん。
「信」やすく、認知症の病室を閉める。ニュースに飛びついて後悔するに達しない人
子女部があんぐワクシンの後、皆で人生を全う無事にされた後、精神病院で縛られている人たち

それが、大手メディアが書いてくれない「えにし」のテーマについての真実の記事のミラシにつなごう。いっしょにおきます。

「子宮頸がん予防」？ワクチンの部屋

目次

○メディアが報じない1枚の写真……Webmagazine「月刊ライフサポート」2022年1月号)

○「ほんとうのことを知ってほしい」ポスターいっぱい運動

○子宮頸癌ワクチンと私の37年……「子宮頸癌ワクチン問題～社会・法・科学」出版記念勉強会にて

○後遺症の多彩な症状～2014時間経過に伴う症状の進展と拡大・日本線維筋痛症学会 2014

○横田俊平横浜市立大名堂教授と聴講生の往復書簡 2015.6

○「薬害4つの構造」と「三位一体」……徳田靖之弁護士

「ワクチン」が、「ふつうの薬」と違って製薬会社に莫大な利益をもたらす。そのわけは、
薬害訴訟を支える会議録 2021/10/25より

○厚生労働省健康局長名で、都道府県知事宛に「積極的勧奨中止」の勧告が出されると、被害者
児島大学の論文で明らかです。接種再開で被害者が激増することは確実です。そのとき、自民党
とができるのでしょうか？

薬害スモンでも、1970年9月にキノホルムの販売中止をした直後から、スモン患者の新規発生がほとんどなくなりました。この

○日本女性を死なせる癌は、多い順に乳癌、大腸癌、肺癌、そして、ずっと下がって子宮癌

しかも、検診が早期発見できるのに、「子宮癌が恐ろしい。危険があってもわが子がワクチンを」と思い込んでいる人がいたと
とw(o')w

○ワクチンの前に「子宮頸がんへの恐怖」を売りこむというMSDの手法

その製品が欲しいと思わせる、それを自分自身の考えだと信じ込ませる

『子宮頸がんワクチン問題～社会・法・科学』（みすず書房）

の第13章「算から生み出された市場」から抜粋しました。

○マスメディアが報じなかったのはなぜ？

2021.10.1 副反応研究会のあと、厚生労働省内の記者クラブでおこなわれた記者会見の発言を記録しました。被害女性たちは、
した

○「子宮頸がんワクチン問題～社会・法・科学」……別府宏園監訳

世界中で安全であると評価されている韓国製／ノーベル賞受賞者が秀文

ゆきえにしネット<http://www.yuki-enishi.com/>
をクリックするとこのような情報が

○「HPVワクチン関連神経免疫異常症候群（HANS）とautoimmune/inflammatory syndrome induced
adjuvants(A S I A)」・アレルギー・免疫25巻6号・横田俊平et al 2015.6

[横浜市立大学大学院小児医療学名誉教授・横田俊平先生と公開講義聴講生の往復メール 2015.6](#)

○取り残された被害少女たち 朝日新聞社会部 斎藤智子さん（週刊朝日 2015.5）

○「子宮頸がんワクチン」被害、デンマークの少女にも

「子宮頸がんワクチン」と称するものが、癌の予防につながらないばかりが、場合によっては、認知症のような症状まで起こすことを警告してきました
そんな被害は出ていない」というのが推進を唱える方々の主張でした。それを覆すTBSのnews23で放映された映像です。国立フレデリクスベア商
業研究を開始しています。

○ワクチン世界市場の「早刈り場」となった日本／推進するWHOの影にゲイツ財団と製薬企業……太田美智子さん
こちら]

○「子宮頸がんワクチンは脳神経を壊す」－自己免疫疾患患者が実名告発 2014.7.10 週刊文春……ジャーナリス

◇とんとん拍子の公費助成・定期接種化の背景／子宮頸がん予防ワクチンの“主役”はロビイストとPR開業社が
金曜日2013.10.4]

[勧告「市町村長は、接種の積極的な勧奨とならないよう留意すること」厚生労働省健康局長 2013.6.14](#)

◇「被害を生み出すワクチンビジネス」江戸川大学教授 隈本邦彦さん

◇HPVワクチンの効果と害……「医薬品・治療研究会・正しい治療と薬の情報」

日本では、製薬会社から広告費や協賛金をもらっていない医薬品関係の雑誌は、ほんのわずかしかなかった。
編集長の別府宏園医師はスモン以来、薬害問題の解決、医薬品の適正使用、エビデンスに基づいた正しい治療の普及に熱心に取り組んできた神経内科医

◇子宮頸がん予防接種／効果薄い／副作用調査すれば数倍 東京新聞2013.5.12

◇子宮頸がんワクチン被害／受けやすい検診の確立を 毎日新聞2013.4.10

○子宮頸がん予防ワクチンキャンペーンの「危うさ」 週刊朝日2010.4.16号

fuj2MLの私の投稿に共感してくださった金沢大産婦人科講師（当時）の打出善義さんが、HPV研究や予防ワクチン開発に取り組んできた金沢医大
の協力をえて情報をならしてくださいました。

○「専門家会議」とモナコの国際学会招待への懸念 2010.2.6 fuj2MLにゆき投稿

おまけ・自己紹介 昔は医学記者でした

もとは、生命科学の**研究者志望**。学者の世界のドロドロに幻滅して。朝日新聞へ。
当時は「新聞記者は男の仕事・女はいらない。」という時代
でも、男子禁制のオリンピックの女子選手村で、他社に抜かれたら一大事
しかたがない、女をとるか～ 各社1963年だけ女性を採用

科学部へ。「みんなの健康」を10年

「善玉コレステロール」「悪玉コレステロール」という言葉を発明o(^o) (^o) (^o)

調査報道「日赤産院名誉院長連続手術ミス事件」

不必要だった移植手術・死の判定にも疑問

和田心臓移植の真相は、学会誌がきっかけ。

薬効についての**「雨乞いの論理」「3たの論理」**追放記事

製薬会社・広告部との攻防

インフォームド・コンセントと利用者民主主義

論説委員になって厚生行政も担当

「寝たきり老人」という言葉が日本にしかないことを発見w(°o°)w

「痴呆薬を洗い直せ」キャンペーン」etc.

